

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野計器株式会社					
代表者名	氏名	佐藤 正継	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	〒143-8544 東京都大田区東馬込1丁目30番4号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	29 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	工業用圧力計・温度計、工業用圧力センサー及び車載用圧力センサーの製造、販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3512	3406	3731	3729	3693
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7503	7277	7978	7951	7870
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	22		25	25	25
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	44				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

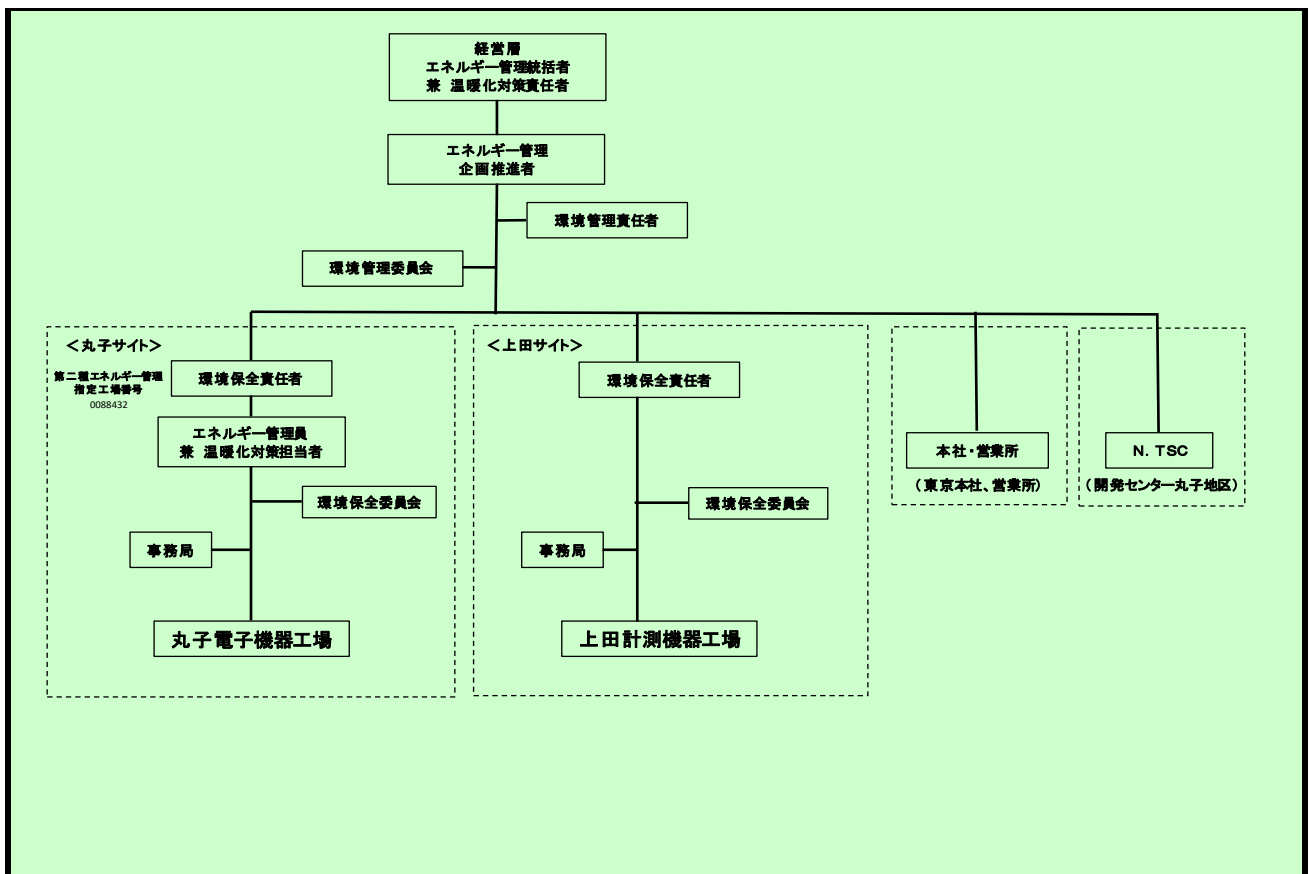
<input type="checkbox"/>	ホームページ	〒386-0412 長野県上田市御岳堂2480番地 丸子電子機器工場 工場事務課 TEL0268(42)7530 閲覧時間 AM9:00～12:00, PM1:00～4:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

地球の有限なエネルギーの合理的な使用により、地球環境を守り、社会の持続的発展に貢献する。

- (1) 環境マニュアルの基本理念に基づき省エネ活動を効果的に推進すること。
- (2) 環境負荷の低減に努め、環境保全を図ること
- (3) エネルギーコストの低減により経営の合理化を図ること

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境管理委員会 3か月毎に開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,503	t-CO ₂	生産金額(円)	1,510.81	単位	千万円	
28年度	調整後排出量	7,457	t-CO ₂	基準原単位	4.97	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	7,277	t-CO ₂	目標原単位	4.82	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.01	%		
目標設定に関する説明	省エネ法に準じ中長期的な改善努力とした							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	7,978	t-CO ₂	生産金額(円)	1,794.60	単位	千万円	
	調整後排出量	7,917	t-CO ₂	原単位	4.45	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(6.34)	%	削減率	10.46	%		
排出量等の増減理由	景気上昇からくる受注増に伴い、生産金額が大幅な増加となった。従って、生産設備や空調設備の稼働時間が増加し、結果としてCO ₂ 排出量も増加した。							
第二年度	排出量	7,951	t-CO ₂	生産金額(円)	1,932.32	単位	千万円	
	調整後排出量	7,902	t-CO ₂	原単位	4.11	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	(5.98)	%	削減率	17.30	%		
排出量等の増減理由	夏季は猛暑日が多く空調負荷が大きくなったことからエネルギー消費量が増えました。年度後半からは景気の調整から来る受注減により、生産金額が前年比減少したため、生産系設備におけるエネルギー消費が低下しました。これらの増減要素により概ね前年並みのCO ₂ 排出量となりました。							
第三年度	排出量	7,870	t-CO ₂	生産金額(円)	1,666.76	単位	千万円	
	調整後排出量	7,656	t-CO ₂	原単位	4.72	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	(4.90)	%	削減率	5.03	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標の達成状況：CO ₂ 排出量は達成されませんでした。 排出量の増減理由：主に、工場の生産量および外気温によって増減します。2019年度は夏季の外気温が高い日が多かったことから、空調設備の消費電力が多くなったことにより排出量も増えました。ただし、工場生産量の減少から、前年値は下回りました。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	44	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699 高効率変圧器に更新(上田工場)	29	4.2	29	4.2
2	エネ起	330299 断熱塗料の塗布(丸子工場)	29~30	72.8	30	31
3	エネ起	330299 断熱塗料の塗布(上田工場)	29~30	43	29	43
4	エネ起	330299 灯油炊き暖房機を都市ガス暖房機に更新(上田工場)	29~30	9	29	9
5	エネ起	380752 LEDの採用(丸子工場)	29~30	11.4	29~31	21.5
6	エネ起	380752 LEDの採用(上田工場)	29~30	11.9	29, 31	30.1
7	エネ起	330299 空気調和設備を高効率機に更新(丸子工場)	30	70		
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書(熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	46		61	49	214
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,972	1	5,287	1	5,409	1	5,328
1,500k1未満	2	2,531	2	2,691	2	2,542	2	2,542
合計	3	7,503	3	7,978	3	7,951	3	7,870

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	22	25	25	25
次世代車導入割合	4.5	4	4	4

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	関連会社へ省エネ法、省エネ情報の提供

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	ノーマイカーデーの実施、マイカー通勤率97.4%
公共交通機関の利用促進	該当せず
来客者の交通対策	最寄駅からの地図を作成しており、要所に案内看板を設置している。
物流の合理化	製品の輸送の集約化による輸送頻度の削減に取り組んでいる。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001:2004	2000年
2	ISO14001:2015	2017年
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①蛍光灯をLED機器へ交換（214台）（上田計測機器工場） ②エアー漏れの改善（上田計測機器工場） ③工場屋根の断熱塗装（上田計測機器工場） ④音楽村の花植えに参加し緑化に努めた
第一年度実績	①音楽村の花植えに参加し緑化に努めた ②電子決済導入を進め、紙使用量の削減に努めた
第二年度実績	①音楽村の花植えに参加し緑化に努めた
第三年度実績	①音楽村の花植えに参加し緑化に努めた

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	・屋根に断熱塗装を塗布 ・配管径の変更による圧損削減 ・ヒートポンプシステムの採用 ・加熱設備等の更新（ボイラー） ・LEDの導入	211.7
その他		